

企業 共生型 農福連携セミナー

●開催日時／2025年 **7月9日 水** 13:30～15:30

●開催場所／ビジョンセンター東京虎ノ門 504

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-4-7 T-LITE(トライト) 5F
<https://www.visioncenter.jp/tokyo/toranomon/>

●参加料／一人 15,000円(税込)

農福連携を通じた 企業の障がい者雇用・社会的価値向上 を考えるセミナー

農福連携は、障がい者の就労機会を創出するだけでなく、企業が地域社会の中で持続可能な価値を生み出すための、実践的なパートナーシップの形でもあります。
本セミナーでは、導入事例や先進企業の声を交えながら、自社の経営戦略にどう農福連携を組み込むことができるのか、そのヒントを得られる機会をご提供します。

1 13:30 ▶ 13:40

企業によるノウフクの 取り組みについて



末松 広行

東京農業大学 総合研究所特命教授
一般社団法人 日本基金 理事
(元農林水産事務次官)

東京大学法学部卒。農林水産省入省後、総理大臣官邸内閣参事官、農村振興局長などを歴任。2018年、農林水産事務次官。在職中、「農福連携等推進会議」を立ち上げ、農福連携等推進ビジョンを策定。食料安全保障、林業、再生可能エネルギーの取組みを支援。

2 13:40 ▶ 14:20

ノウフクと企業の連携 ①



大西 千晶

日本農業株式会社 代表取締役

農業には経済の発展だけでなく、レジリエンスにつながる食、防衛、自然資本生態系の拡張など、さまざまな課題解決につながると希望を持ち、大学在学中の20歳の時に起業し、京都府亀岡市・南丹市で就農。4町2反の農園で、年間約80種類ほどの有機野菜の栽培と有機稲作を行い、6次産業として加工事業を行う。

企業共生型ノウフク事例／西尾レントオール(株) ご担当者様

3

14:35 ▶ 14:45

ノウフクと企業の連携 ②



小林 涼子

女優

株式会社AGRIKO 代表取締役

農林水産省 食料・農業・農村政策審議会
食糧部会 臨時委員

俳優業と並行し2021年株式会社AGRIKOを起業。
「農福連携技術支援者」を取得し、新潟での稲作や自然環境と人に優しい循環型農福連携ファーム「AGRIKO FARM」の運営など「農業」「福祉」「食」を通じた環境デザインの提案や企業との協業を行なっている。

4

14:45 ▶ 15:00

企業の社会的価値向上に 寄与する『ノウフク JAS』



太田 みどり

一般社団法人 日本基金

日本清涼飲料協会 理事

ノウフクJASの規格立案を行い、農林水産省に於いてノウフクJASを規格化する。農福連携に携わる生産者・事業者・生産品の価値向上のため、ノウフクJAS規格の普及啓発に尽力。企業の社会的価値向上につながるノウフクJAS商品を、企業のサプライチェーンに組み込むことで、農福連携事業者の安定的収益と雇用に繋げることを目指す。

6

15:00 ▶ 15:30

トークセッション

お申込みは／裏面または、右の二次元コードからお申し込みください ▶



経営者・人事・CSRご担当者様向けセミナー開催！

—企業×ノウフクがwin-winの関係を構築することによる社会的価値—

ESG経営やSDGs経営への移行が進み、企業の評価は「利益」だけでなく「社会との関係性」「持続可能性」にも強く左右される時代です。また、障がい者雇用は「義務」から「戦力化・価値化」のフェーズへと進化しつつあります。農業という現場を活用することで、従業員の心身のリフレッシュ、職場復帰支援、ユニークな社員研修の機会も創出できるなど、農福連携は企業にとって実用性とブランディングの両面に貢献できる取り組みとなります。従業員のメンタルヘルス対応、障がい者雇用の法定雇用率達成、離職防止や人材育成の強化など、企業には「人」に関わる多様な課題への対応が求められています。また、地域との関係性や社会的価値も重視される今、単なる雇用義務の達成ではなく、自社の組織づくりや経営課題の解決にもつながる新たなアプローチが必要です。農福連携は、これらの課題を横断的に解決しうる選択肢として、企業にとって非常に実用的かつ戦略的な意味を持ち始めています。多様な人材が活躍し、地域と企業が相互に支え合う「共生型社会」は、これからの企業にとって避けて通れない未来です。農福連携は、障がい者の就労機会を創出するだけでなく、企業が地域の中で持続可能な価値を生み出すための、実践的なパートナーシップの形でもあります。本セミナーでは、導入事例や先進企業の声を交えながら、自社の経営戦略にどう農福連携を組み込むことができるのか、そのヒントを得られる機会をご提供します。

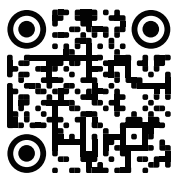
※農福連携とは

農福連携とは、農業と福祉が連携し、障害者等の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障害者の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組として定義されていますが、今後は企業と農業が、win-winの関係を構築することにより、企業と従業員の新たな架け橋として、農福連携の枠組みとしての発展が期待できます。

申込み方法

WEBからは

右の二次元コードの「受講申込みフォーム」よりお申し込みください。お申し込みから3営業日以内に申込み受付メールをお送りします。
(申込み受付メールの手順内容に従って、お手続きください。)



お振込先

三井住友銀行 神田支店 (普通) 3616166
シャ) ニッポンキキン

参加費は、振込手数料をご負担の上、上記口座宛にお振込ください。
※ご参加できなくなった場合、参加費は返金致しませんので、代替受講者等をご検討いただけますようお願い致します。
※領収書が必要な方はお申し出ください。

FAXからは 参加申込書▶ FAX. 03-6206-0117

※FAXでのお申し込みは、必要事項をご記入の上、上記ファックス番号宛に2025年7月3日までに送信してください
※お申し込みから3営業日以内にお振込手続きに係るFAXを返信いたします。入金確認後に「参加証」をFAXにて送信いたします。

企業・団体名			部署名		
所在地	〒				
フリガナ					
参加者氏名	①	②	③		
電話番号			メールアドレス		
参加費 振込予定日	@15,000円 X 人 = 円(税込) 月 日 振込予定				



日本基金

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-1-4大京ビル松住町別館401号
TEL.03-5295-0070 FAX.03-6206-0117 Mail.info@nipponkin.org

ノウフクのプラットフォーム
ノウフクWEB

